

## 京丹後市立病院改革プラン

# 指標に対する評価

(令和2年度 収支計画・実績)

弥栄病院

◆指標(数値目標)に対する評価

【弥栄病院】

1. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化に関する指標				(2)通所リハビリテーション利用者数			
(1)訪問看護者数			単位:人				単位:人
	計画	実績	自己評価		計画	実績	自己評価
H29	7,675	10,524	A	H29	-	-	-
H30	7,720	11,091	A	H30	-	-	-
R1	7,775	12,135	A	R1	-	-	-
R2	7,820	14,191	A	R2	-	-	-
<R2状況等> 地域の需要に応えるため職員を1名増員し、訪問体制の強化を図り、サービス利用者の増加につなげている。				<状況等> -			

2. 経営の効率化に関する指標				②医療収支比率(医療収益 / 医療費用)			
(1)収支改善に係るもの			単位:%				単位:%
①経常収支比率(医療収益+医療外収益/医療費用+医療外費用)				②医療収支比率(医療収益 / 医療費用)			
	計画	実績	自己評価		計画	実績	自己評価
H29	100.3	97.5	B	H29	96.6	93.6	B
H30	100.7	92.0	B	H30	97.6	88.5	B
R1	100.2	92.0	B	R1	97.1	85.9	B
R2	100.3	94.4	B	R2	97.6	87.8	B
<R2状況等> 診療体制が令和元年度より一部改善し、また国の財政措置基準の改定による一般会計繰入金金の増額により収益は増加したものの、コロナ禍における受診控え、院内感染による入院制限等の影響により患者数が伸び悩んだ。費用面では、人件費やコロナ対策での材料費等の増加があり大幅な収支改善に繋がらなかった。				<R2状況等> 産科の通年での分娩対応、外科・小児科の常勤化など診療体制が令和元年度より一部改善し、入院収益が増加した。			
(2)経費削減に係るもの			単位:%				
①材料費対医療収益比率(材料費 / 医療収益)							
	計画	実績	自己評価				
H29	29.2	29.6	B				
H30	29.4	28.9	A				
R1	28.8	29.0	B				
R2	28.8	28.4	A				
<R2状況等> 経営コンサルタントを活用して薬品メーカーやSPD委託業者等への価格交渉を行い、経費削減に努めた。 ※SPD…医療消耗材料など全ての物品を管理する業務							

◆指標(数値目標)に対する評価

【弥栄病院】

(3) 収入確保に係るもの

① 1日当たり入院患者数

単位:人

	計画	実績	自己評価
H29	167	162	B
H30	171	145	B
R1	174	137	C
R2	176	140	C

<R2状況等>

産科の通年での分娩対応、外科・小児科の常勤化など診療体制が令和元年度より一部改善し、患者数の増加に繋げることが出来た。一方、新型コロナウイルス感染症の院内感染による入院制限の影響や内科常勤医の不足により、内科の入院患者数が減少した。

③ 病床利用率

単位:%

	計画	実績	自己評価
H29	83.9	81.0	B
H30	86.0	72.5	B
R1	87.1	68.9	C
R2	88.3	70.2	C

<R2状況等>

産科の通年での分娩対応、外科・小児科の常勤化など診療体制が令和元年度より一部改善し、患者数の増加に繋げることが出来た。一方、新型コロナウイルス感染症の院内感染による入院制限の影響や令和元年度からの内科常勤医の減少により、内科の入院患者数が減少した。

② 1日当たり外来患者数

単位:人

	計画	実績	自己評価
H29	412	404	B
H30	430	402	B
R1	427	399	B
R2	423	378	B

<R2状況等>

令和元年度からの内科常勤医の減少と新型コロナウイルス感染症の影響による高齢者の受診控えにより整形外科・眼科の患者数が減少した。

(4) 経営の安定性に係るもの

① 常勤医師数 ※年度末人数

単位:人

	計画	実績	自己評価
H29	12	11	B
H30	14	8	C
R1	15	12	B
R2	16	11	C

<R2状況等>

医師招へいに向け、京都府、大学の医局や関係病院にお願いを行ったが、新たな常勤医師の招へいは実現出来なかった。

## 1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円、％）

区分		年度												
		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	30年度 (実績)	元年度 (計画)	元年度 (実績)	2年度 (計画)	2年度 (実績)
収	1. 医業収益 a	3,582	3,615	3,692	3,639	3,583	3,728	3,833	3,830	3,585	3,844	3,636	3,861	3,735
	(1) 料金収入	3,234	3,288	3,353	3,300	3,227	3,387	3,456	3,487	3,196	3,501	3,266	3,517	3,352
	(2) その他	348	327	339	339	356	341	377	343	389	343	370	344	383
	うち他会計負担金	197	183	191	187	200	187	210	187	220	187	215	187	215
	2. 医業外収益	144	290	311	281	303	303	323	316	311	321	444	306	485
	(1) 他会計負担金・補助金	110	113	119	140	126	159	155	165	147	158	272	157	278
	(2) 国（県）補助金	16	16	17	15	16	15	16	15	15	15	13	15	58
	(3) 長期前受金戻入	0	114	120	99	103	104	108	110	120	120	136	107	126
	(4) その他	18	47	55	27	58	25	44	26	29	28	23	27	23
	経常収益 (A)	3,726	3,905	4,003	3,920	3,886	4,031	4,156	4,146	3,896	4,165	4,080	4,167	4,220
支	1. 医業費用 b	3,570	3,664	3,729	3,764	3,751	3,860	4,096	3,925	4,053	3,957	4,233	3,954	4,253
	(1) 職員給与費 c	1,940	1,992	2,031	2,089	2,102	2,094	2,225	2,096	2,261	2,092	2,243	2,093	2,280
	(2) 材料費	1,038	1,042	1,059	1,036	994	1,090	1,133	1,127	1,035	1,106	1,054	1,111	1,062
	(3) 経費	412	393	386	432	426	462	500	440	480	419	465	419	470
	(4) 減価償却費	164	224	241	197	205	204	214	251	252	329	453	320	433
	(5) その他	16	13	12	10	24	10	24	11	25	11	18	11	8
	2. 医業外費用	104	140	142	136	140	158	165	192	181	201	203	199	217
	(1) 支払利息	24	22	20	23	18	39	24	57	35	62	38	60	36
	(2) その他	80	118	122	113	122	119	141	135	146	139	165	139	181
	経常費用 (B)	3,674	3,804	3,871	3,900	3,891	4,018	4,261	4,117	4,234	4,158	4,436	4,153	4,470
経常損益 (A)-(B) (C)	52	101	132	20	▲5	13	▲105	29	▲338	7	▲356	14	▲250	
特別損益	1. 特別利益 (D)	23	21	14	14	16	15	17	13	14	24	23	18	90
	2. 特別損失 (E)	25	118	1	0	0	0	0	215	266	0	3	0	66
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲2	▲97	13	14	16	15	17	▲202	▲252	24	20	18	24
純損益 (C)+(F)	50	4	145	34	11	28	▲88	▲173	▲590	31	▲336	32	▲226	
累積欠損金 (G)	1,434	770	625	591	614	563	702	736	1,292	705	1,628	673	1,854	
不良債務	流動資産 (ア)	833	783	774	800	734	932	791	801	823	854	694	983	805
	流動負債 (イ)	430	489	473	473	433	573	544	473	831	403	829	403	951
	うち一時借入金	200	90	70	70	100	170	180	70	490	0	450	0	570
	翌年度繰越財源 (ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
	当年度同意等償で未借入又は未発行の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不良債務差引 [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)] (オ)	▲403	▲294	▲301	▲327	▲301	▲359	▲247	▲328	8	▲451	135	▲580	166	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101.4	102.7	103.4	100.5	99.9	100.3	97.5	100.7	92.0	100.2	92.0	100.3	94.4	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲11.3	▲8.1	▲8.2	▲9.0	▲8.4	▲9.6	▲6.4	▲8.6	0.2	▲11.7	3.7	▲15.0	4.4	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	100.3	98.7	99.0	96.7	95.5	96.6	93.6	97.6	88.5	97.1	85.9	97.6	87.8	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	54.2	55.1	55.0	57.4	58.7	56.2	58.0	54.7	63.1	54.4	61.7	54.2	61.0	
地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額 (H)	▲403	▲294	▲301	▲327	▲301	▲359	▲247	▲328	8	▲451	135	▲580	166	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲11.3	▲8.1	▲8.2	▲9.0	▲8.4	▲9.6	▲6.4	▲8.6	0.2	▲11.7	3.7	▲15.0	4.4	
病床利用率	82.1	82.3	81.4	81.0	79.9	83.9	81.0	86.0	72.5	87.1	68.9	88.3	70.2	

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%) 万円、%

区分	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度	29年度	29年度	30年度	30年度	元年度	元年度	2年度	2年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(実績)
収	1. 企業債	154	165	260	1,094	844	3,017	2,886	1,212	1,550	120	109	120	76
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151	0	149
	3. 他会計負担金	105	117	116	126	129	120	124	118	119	150	3	146	29
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	53	3	4	3	3	43	44	100	107	3	3	3	59
	7. その他の他	0	6	2	0	0	0	1	0	2	0	1	0	2
収入計 (a)	312	291	382	1,223	976	3,180	3,055	1,430	1,778	273	267	269	315	
うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	
前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
純計(a)-(b)+(c) (A)	312	291	382	1,223	976	3,180	3,055	1,430	1,778	273	267	269	295	
支	1. 建設改良費	224	171	299	1,094	851	3,057	2,940	1,397	1,665	120	113	129	150
	2. 企業債償還金	287	319	314	223	223	210	211	255	207	269	262	261	253
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他の他	2	2	4	6	7	4	7	4	6	4	4	4	5
支出計 (B)	513	492	617	1,323	1,081	3,271	3,158	1,656	1,878	393	379	394	408	
差引不足額 (B)-(A) (C)	201	201	235	100	105	91	103	226	100	120	112	125	113	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金	227	92	242	126	104	124	103	195	91	243	0	254	0
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4. その他の他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計 (D)	227	92	242	126	104	124	103	195	91	243	0	254	0	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	▲ 26	109	▲ 7	▲ 26	1	▲ 33	0	31	9	▲ 123	112	▲ 129	113	
当年度同意等債で未借入又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	▲ 26	109	▲ 7	▲ 26	1	▲ 33	0	31	9	▲ 123	112	▲ 129	113	

1. 平成25年度までは旧会計基準による数値である。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度	29年度	29年度	30年度	30年度	元年度	元年度	2年度	2年度
	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(実績)
収益的収支	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 19)
	307	296	310	327	327	346	365	352	367	345	487	344	493
資本的収支	( 2)	( 0)	( 2)	( 4)	( 7)	( 4)	( 7)	( 4)	( 5)	( 4)	( 36)	( 4)	( 71)
	105	117	116	126	129	120	124	118	119	150	154	146	178
合計	( 2)	( 0)	( 2)	( 4)	( 7)	( 4)	( 7)	( 4)	( 5)	( 4)	( 36)	( 4)	( 90)
	412	413	426	453	456	466	489	470	486	495	641	490	671

(注)

1 ( )内はうち基準外繰入金額。

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう。